

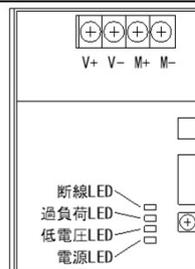
DSB型ブレンド散布機 トラブル早見表

No.TH381711-1

症状		原因	確認方法	対処方法
肥料が出ない	電源ランプ点灯しない	ヒューズの容量不足	ヒューズに印刷されている容量値を確認。	指定の10Aヒューズに交換する。
		シャッター過負荷	シャッターと底板の隙間に肥料が詰まっていないかを確認。	シャッターの分解掃除。
		ポテンシオメータの調整不良	シャッターギアのロックピンがモーターベースの長穴に当たっていないかを確認。	当たっている場合は、ポテンシオメータの再調整。(取扱説明書参照)
		コードのショート	モーターのギボン端子を外してもヒューズが切れる時は、テスターでショート箇所を探す。	損傷コードの交換、またはショートしないようテーピングして使用する。
		作業機用電源カプラに接続されていない	電源カプラの接続先が作業機用電源カプラであることを確認。(トラクタの取扱説明書参照)	電源カプラをトラクタの作業機用電源カプラに接続する。
	ヒューズが切れていない	トラクタのキースイッチがONになっていない	トラクタのキースイッチの状態を確認。	キースイッチのON、またはエンジンをかける。
		電源線の逆接続	バッテリー端子への接続(+側、-側)を確認。	バッテリー端子へ正しく接続(+、-)する。
		電源入力コードの断線	目視およびテスターで断線箇所を探す。	損傷コードの交換、または断線箇所を接続し直して使用する。
		電源スイッチの故障	電源スイッチの導通確認をする。正常時は、端子①～②間、④～⑤間、電源「ON」時導通。	故障している場合は、電源スイッチの交換。
		シャッター開閉時、電源ランプが消灯する	電源コードの接触不良	モーターを外して電源ランプが点灯するようであれば、電源コードの接触不良。
	電源ランプ点灯する	他機種ボックスの誤使用	スイッチボックスシールに記載の「DSB」を確認	正規のスイッチボックスに交換。
		散布スイッチの故障	散布スイッチの導通確認をする。正常時は、端子②～③間、散布「入」時導通。	故障している場合は、散布スイッチの交換。
		モーターの故障	モーターベースからモーターを外し、モーターに直接12Vを加えても回転しない場合は、故障。	モーターの交換。
		制御線断線	制御線(基板ユニットのV+端子～抵抗～基板ユニットの7ピンコネクタの4番ピン)が断線していないことを確認。	断線している場合は、接続し直すか、指示コードを交換する。
		シャッターレバーが緊急時側になっている	シャッターレバーが通常時の位置に止められているかを確認。	シャッターレバーを通常時の位置に止める。
基板ユニットの故障		基板ユニットの電源LED(緑)が点灯していて、スイッチボックスのツマミを動かしてもM+、M-端子に電圧が出力されなければ、故障。	基板ユニットの交換。	
低電圧LED点灯(赤)	トラクタのバッテリー電圧低下	散布機使用時の電圧が12V以上で正常。	12V未満の場合は、トラクタを整備してもらう。	

症状		原因	確認方法	対処方法	
肥料が出ない	電源ランプ点灯する	過負荷LED点灯(赤)	シャッター過負荷	シャッターと底板の隙間に肥料が詰まっていないかを確認。	シャッターの分解掃除。
		断線LED点灯(赤)	ポテンシオメータの調整不良	シャッターギアのロックピンがモーターベースの長穴に当たっていないかを確認。	当たっている場合は、ポテンシオメータの再調整。(取扱説明書参照)
	混合羽根回転しない	コネクタ未接続	コネクタが全て接続されていることを確認。	コネクタを全て接続する。	
		コードの断線	目視およびテスターで断線箇所を探す。	損傷コードの交換、または断線箇所を接続し直して使用する。	
		ボリューム、ポテンシオメータの断線故障	テスターで抵抗値確認。端子①～③間は10kΩ固定。端子②～③間は0～10kΩ可変で正常。	故障の場合は、部品交換。	
肥料の出方が不安定	シャープピンが切れている	肥料の入れ過ぎ	規定以上の量を入れていないかを確認。(取扱説明書参照)	規定以下の量に減らす。	
		PTO回転が速過ぎる	PTO回転が400rpm以下であることを確認。(トラクタの取扱説明書参照)	400rpm以下で使用する。	
		肥料の絡り	肥料を入れたまま散布せずに15分以上移動していないかを確認。	肥料の投入は圃場で行い、肥料を散布せず移動することは15分を超えないようにする。	
		ウレタンゴムの調整不良	ウレタンゴムが底板やホッパーに強く擦られているかを確認。	強く当たっている場合は、ウレタンゴムの再調整。(取扱説明書参照)	
混合羽根回転する	シャープピンが切れていない	流れの悪い肥料	羽根が散布穴上を通る時だけしか肥料が出ない場合は、肥料の流れが悪い。	散布穴を大きくして、その分車速を速めるか、流れの良い肥料と混合して散布する。	
肥料が止まらない	電源ランプ点灯しない	ヒューズが切れている	異物や固まった肥料の噛み込み	散布穴に噛み込んだものが無いかを確認。	噛み込んでいるものを除去。
	電源ランプ点灯する	基板ユニットの故障	基板ユニットの電源LED(緑)が点灯していて、スイッチボックスのボリュームを動かしてもM+、M-端子に電圧が出力されなければ、故障。	シャッターレバーを緊急時側に移動し、肥料を止めた後、基板ユニットの交換。	

端子、LED	内容
V+ V-	電源入力端子
M+ M-	モーター出力端子
断線 LED	異常時点灯(赤)
過負荷 LED	
低電圧 LED	
電源 LED	正常時点灯(緑)



基板ユニット